

校務分掌・学年重点目標と達成手段

宮崎県教育基本方針		本県の教育は、あらゆる教育の場を通じ、教育基本法にうたわれている人間尊重の精神を基調として、 「たくましくからだ 豊かな心 すぐれた知性」 をそなえ、郷土に対する誇りと柔軟な国際感覚にあふれ、新たな時代を切り拓いていく気概を持ち、心身ともに調和のとれた人間の育成を目指します。					
学校経営ビジョン		自信と誇り、高い志を持つ自立した経済人の育成を目指し、地域および県民の負託にこたえる学校の創造 — 経済の変化を察知し、対応するために学び行動し、経営活動に参画する職業人の育成 —					
目指す方向性	目指す生徒像		目指す学校像		目指す教師像		
	①キャリアビジョンを描き実現できる生徒 ②都商ならではの学びを実践できる生徒 ③地域の文化・産業の発展に貢献できる生徒		④地域社会の負託にこたえる学校 ⑤自立した品格ある経済人を育む学校 ⑥高い志と人間性を育むことのできる学校		⑦変化を恐れず、常に前向きな教師 ⑧学問の本質や常識を的確に指導できる教師 ⑨時代の変化や地域のニーズに敏感な教師		
重点目標		達成手段			前期	後期	年間平均
1	キャリアビジョンを描き実現する生徒の育成	①授業改善(教える⇒考えさせる授業へ) ②教師の授業力向上 ③キャリアビジョンの構築と実現(メタ認知) ④朝読書の質的向上			2.6	2.7	2.7
2	自立した品格ある生徒の育成	①環境教育の実施と教育環境の整備 ②先輩からの都商イデオロギイ伝達(卒業生・在校生) ③礼節を重んじ、何事にも誠実に取り組む姿勢 ④教育環境の整備と施設設備の維持管理			2.7	2.9	2.9
3	高い志と人間性を身につけた生徒の育成	①公共施設でのマナー向上 ②美化意識の向上と施設・設備の充実 ③危機察知能力の育成 ④部活動を通じた高い人間性・人間力の育成			3.0	2.8	2.9
4	地域の文化・産業の発展に貢献できる生徒	①地域行事への参加奨励 ②地域と学校の連携・協働の充実 ③行政との連携強化 ④予算の計画的・効果的な執行			2.5	2.4	2.5
評価指数 4(期待以上) 3(ほぼ期待通り) 2(やや期待を下回る) 1(改善を要する)							
校務分掌							
分掌	番号	重点目標との関連	具体的方策	評価			●今期の課題○次期必実施項目
				前期	後期	年間	
教務部	1	1-①	「授業力」向上のためのAL(Active Learning)やPBL(Problem-Based Learning)の推進	2.5	2.7	2.6	●生徒の主体的な態度をさらに養成するような授業展開 ●教師の頭がアクティブに働く授業から、生徒の頭がアクティブに働く授業への転換が見られた。 ●生徒同士の教え合いや話し合いの機会をもっと増やしてあげたいと思う。 ●google for educationを使用している授業が前提だったが、他の授業との兼ね合いなどにより、タブレットの台数が不十分であった。 ○生徒の表現活動を増やす。 ○PBLは商業高校に適していると言われていたので、探究の時間導入を機会に、全教科をあげて課題解決型の学習を取り入れられるとよい。
	2	1-②	生徒の見取りを目的とした研究授業・公開授業の設定	2.4	2.9	2.7	●見本となる授業の参観や研修を増やす。 ●ICTを活用した研究授業を全ての先生方に取り組んでもらえたことは非常に価値のあることだ。 ●公開授業は、ほぼ全員の実施を達成した。 ●情報機器やソフトの活用も進んだ。 ●変化する時は多少ストレスがかかるが、終わってみると、そこまで高い壁ではないと思える。 ●「ICTを使用すること」が目的になっており、生徒の学びの過程の見取りまでは至っていないように思った。 ●公開授業実施のお知らせなどが徹底されており、参観しやすい環境作りができて良かった。 ○さらなるICTを活用した授業を推進していく。 ○ICT教育の更なる実施に向けた準備と活用方法の模索。
	3	1-③	「総合的な探究の時間」の実施計画と次年度に導入される新学習指導要領及び学科改編への対応	2.7	2.4	2.6	●準備委員会の先生方の頑張りもあり、今後の取り組みが見えるようになってきました。 ●令和5年度の2年生の実施内容が都商探究成功の鍵を握っている。 ●1年から系統立てて育てた生徒を、どう育て上げるのか商業科職員の責任は大きい。従来の課題研究を刷新し、生徒に寄り添う教員の指導が重要になってくると思う。 ●理解できていない部分が多く不安がある。 ○実行委員会の立ち上げと会の円滑な運営。 ○令和5年度に向けた準備。 ○課題研究について個人の問いを重視したものへと抜本的な見直しを行う。
生徒指導部	1	2-③	あらゆる場面での挨拶や礼法の徹底	2.9	2.9	2.9	●日常の学校生活の面でまだまだ徹底が必要だと感じる。 ●以前と比べ、目が合っても挨拶をしない生徒が増えた気がします。
	2	3-① 3-③	情報モラルや情報リテラシーの周知徹底	3.2	3.0	3.1	
	3	2-② 3-④	勉学と部活動の両立 部ごとに伝統を継承し、常に高い目標に挑戦する	3.1	3.0	3.1	●テスト前の学習の雰囲気作りがなかなか出来ていない。大会がテスト後に無い部活動のあり方を検討しなければならないのでは？ ●部活動の活性化につなげて学習・クラス活動・行事・清掃活動などもっとリーダーシップをとってほしい。
進路指導部	1	1-③	学習活動履歴のポートフォリオ化	2.1	2.5	2.3	●活動を記録・保管させるための準備 ○学習成績の蓄積はできるが、言葉で文章化させる。 ○どれぐらい活用することができるかの検証
	2	2-②	卒業生のお話を聞く会、学科別集会の実施による都商イデオロギイの伝承	2.0	2.6	2.3	●縦の関係により伝統を引き継ぐ ○進路体験など実施できたものについて、ブラッシュアップ
	3	4-③	行政と連携した行事への高校生としての参加	2.1	2.5	2.3	●地元企業・自治体との関わりを多く設定して、結びつきを深める○学校全体としての集約とプランニング
環境保健部	1	2-①	環境問題に係る学習の充実	2.5	2.5	2.5	
	2	3-②	日々の清掃活動を充実させる取り組み	2.8	2.5	2.7	●清掃の監督が徹底できずに指導が不十分で清掃をしていない生徒がいること。 ○清掃箇所の精選
	3	3-③	防災・救急救命に関する教育の実施	2.8	2.5	2.7	
図書渉外部	1	1-④	生徒の興味・関心に基づいた選書指導	3.0	3.0	3.0	●朝の読書に自主的に取り組む指導 ○次期必実施項目です。
	2	3-①	図書館利用規定の周知徹底と遵守指導	3.0	3.0	3.0	●生徒が図書室に足を運ぶ工夫 ○次期必実施項目です。
	3	4-①	地域行事参加についての保護者への協力依頼	2.2	1.7	2.0	●コロナ禍でのPTAとの連携 ●行事や集会などのほとんどが中止などになった。 ●コロナの影響もあるが、行事を実施する計画を考えていかなければならない。 ○実施について、再考の必要があります。
事務部	1	2-① 2-④	教育環境の整備に係る点検と改善	2.5	3.3	3.2	●老朽劣化状況にある施設設備の更新の促進を図る ○危険箇所等学校安全点検に基づき、施設改修の促進
	2	3-③	安全管理を意識した窓口対応	2.8	2.6	2.7	●生徒の安全安心な学習環境を第一に限られた予算の中でより効果的な教材等の導入を図る ○スロープ設置等校内施設の改修

	3	4-④	物品等の計画的・効果的な整備	3.0	3.0	3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スマートスクール事業(産振内容充実)に向けた設備更新</li> <li>○次年度新学科に向けてのPC教室への新規OA機器設備等の円滑な導入を図る</li> </ul>
1 学 年	1	1-③	キャリアビジョン構築のための意識づくり	2.6	2.8	2.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>●進路意識の醸成</li> <li>●前期に1コマどこかでキャリア教育を入れる場面があった方が良いと感じた。</li> <li>○現在働いている先輩から生の声を聞く機会をもっと増やす。</li> <li>○常に意識した指導</li> </ul>
	2	2-③	礼法指導、立腰指導を通じての態度指導の徹底	3.0	2.8	2.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>●授業開始・終了時の挨拶で全員が声を出していない。</li> <li>●読書の時間から立腰指導を徹底していきたい。</li> <li>●立腰指導の目的の周知や徹底</li> <li>●授業前の挨拶は良いのですが、体育館での一礼などが徹底できていない。</li> <li>○ほぼ定着しているが、意識をもっと持たせる工夫を行いたい。</li> <li>○継続指導</li> </ul>
	3	3-④	部活動加入の推進	3.1	2.8	3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>●友人関係などのトラブルから退部が見られた。</li> <li>●退部した生徒の次の入部を促す指導をする場面を作るべき。</li> <li>○粘り強く最後までやり抜く継続性を身につけさせたい。</li> </ul>
2 学 年	1	1-③ 1-④	キャリアビジョン構築につながる学年文庫の設置	2.4	2.5	2.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生徒の緊張感が足りず、思ったより活用がされていない。もっと意識改革が必要であった。</li> </ul>
	2	2-③	学校生活を通したルール遵守の常時指導	2.8	3.0	2.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現行のままが良い。</li> <li>●自主的な活動ができるような雰囲気を作っていけるともっとレベルアップできると感じた。</li> <li>○次期必実施項目です。</li> <li>○リーダーの育成</li> </ul>
	3	3-④	部活動生を中心とした学年リーダーの育成	2.5	2.5	2.5	○次期必実施項目です。
3 学 年	1	2-③	日々の学習活動や行事等で主体的に行動する場面を設定し、互いに協力し合う態度を育てる	2.9	2.9	2.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学校行事では生徒の主体性が発揮され、良かった。</li> <li>●欠点保有者は少なく学習への取り組みはよいように感じた。</li> </ul>
	2	1-③	面談や具体的な活動を通じて、適切な進路選択につなげる	2.9	3.0	3.0	●面談は少なかったが、生徒や保護者のほぼ希望通りの進路選択ができたように思う。
	3	3-② 3-④	部活動や清掃活動を通じて、周囲の方々に感謝できる豊かな人間性を育てる	2.9	2.8	2.9	●清掃への取り組みや集会での聞く態度に反省点が見られる。

各教科重点目標と達成手段

宮崎県教育基本方針		本県の教育は、あらゆる教育の場を通じ、教育基本法にうたわれている人間尊重の精神を基調として、 「たくましいからだ 豊かな心 すぐれた知性」 をそなえ、郷土に対する誇りと柔軟な国際感覚にあふれ、新たな時代を切り拓いていく気概を持ち、心身ともに調和のとれた人間の育成を目指します。					
学校経営ビジョン		自信と誇り、高い志を持つ自立した経済人の育成を目指し、地域および県民の負託にこたえる学校の創造 — 経済の変化を察知し、対応するために学び行動し、経営活動に参画する職業人の育成 —					
目指す方向性	目指す生徒像		目指す学校像		目指す教師像		
	①キャリアビジョンを描き実現できる生徒 ②都府県ならではの学びを実践できる生徒 ③地域の文化・産業の発展に貢献できる生徒		④地域社会の負託にこたえる学校 ⑤自立した品格ある経済人を育む学校 ⑥高い志と人間性を育むことが出来る学校		⑦変化を恐れず、常に前向きな教師 ⑧学問の本質や常識を的確に指導できる教師 ⑨時代の変化や地域のニーズに敏感な教師		
重点目標		達成手段			前期	後期	年間平均
1	キャリアビジョンを描き実現する生徒の育成	①授業改善(教える⇒考えさせる授業へ) ②教師の授業力向上 ③キャリアビジョンの構築と実現(メタ認知) ④朝読書の質的向上			2.6	2.7	2.7
2	自立した品格ある生徒の育成	①環境教育の実施と教育環境の整備 ②先輩からの都府県イデオロギズム伝達(卒業生・在校生) ③礼節を重んじ、何事にも誠実に取り組む姿勢 ④教育環境の整備と施設設備の維持管理			2.9	2.9	2.9
3	高い志と人間性を身につけた生徒の育成	①公共施設でのマナー向上 ②美化意識の向上と施設・設備の充実 ③危機察知能力の育成 ④部活動を通じた高い人間性・人間力の育成			3.1	3.1	3.1
4	地域の文化・産業の発展に貢献できる生徒	①地域行事への参加奨励 ②地域と学校の連携・協働の充実 ③行政との連携強化 ④予算の計画的・効果的な執行			2.9	2.9	2.9
評価指数 4(期待以上) 3(ほぼ期待通り) 2(やや期待を下回る) 1(改善を要する)							
校務分掌							
教科	番号	重点目標との関連	具体的方策	評価			●今期の課題○次期必実施項目
				前期	後期	年間	
国語	1	1-①	「教材で教える」資質・能力ベースの授業展開、意図的・計画的な言語活動の実施	2.7	3.0	2.9	●言語活動を組み入れることはできたが、より意図的・計画的に実行し、評価につなげることが必要だと思う。 ○新学習指導要領の具現化(特に言語活動)のあり方を明確にする。
	2	1-②	各研修への参加と教科会での研修内容の共有、及び授業公開・参観し教科会での意見交換、情報共有	2.7	3.0	2.9	●現在の実施状況で良い。 ●機会を見つけて研修に参加することができた。また、教科会で意見交換を行うなど授業公開期間を有効活用させることができた。 ○授業公開・参観については、受験指導と重なる時期であり、余裕を持って取り組むことが出来なかった。また、機材の予約も立て込んでいた。
	3	1-③	生徒の個々の進路実現に向けた国語力の向上の推進	3.0	3.0	3.0	●現行どおりで良い。 ●ICTを使用することにより個々の学びの進捗状況を把握でき、指導に活かすことができた。
歴史公民	1	1-①	授業力向上のための、ALの推進	2.5	3.0	2.8	●よく2人とも頑張ったと思います。
	2	1-②	研究授業・公開授業の設定と研修の機会の充実	2.5	3.0	2.8	●よく2人とも頑張ったと思います。
	3	1-③	新教育課程における新科目「公共」「歴史総合」「地理総合」の研究	2.5	2.5	2.5	●公共のシラバスは最高のものです(内容が)。坂元先生の努力です。
数学	1	1-①	できるだけ日常の題材を取り入れ、興味・関心を高める。	2.2	2.5	2.4	●課題の設定やICTによる指導など、思った成果が残っていないので、学科として大いに研究すべきである。 ●教科で話し合いいくつかの題材を話題に取り入れることができたが、数が少なかった。
	2	1-②	計算法、問題解決の手順を明らかにする指導を工夫し、生徒の学習に役立たせる。	3.0	3.0	3.0	
	3	1-③	基礎学力の定着を図り、進学に対応するための指導法を検討する。	3.0	3.0	3.0	●欠点が数人出ているので、事前の指導を徹底したい。
理科	1	1-①	授業の導入で身近な科学的現象を題材に取り上げ理科が生活の一部であることに気づかせ、科学的に正しい判断に基づいて行動できるようにする	3.0	3.0	3.0	●ICTを活用した授業の改善
	2	1-②	具体的なイメージを培うために効果的に視聴覚教材を使い、生徒実験の機会を増やすことで様々な現象に対して深い洞察力を養う	3.0	3.0	3.0	
	3	1-③	医療系・看護系に進学すると直接的に仕事に関係することを理解させ、主体的に学習できる生徒の育成を図る	2.0	3.0	2.5	●主体的に取り組める活動内容の検討
体育	1	1-① 1-②	生涯スポーツにつながる実践を求め、運動の特性や意義を理解し、お互いに協調性をもたせながら、自主的・自発的な展開に繋がられる教材・教具の工夫に取り組む。	3.0	3.0	3.0	●自主的・自発的な展開に繋がられるように工夫が必要である。
	2	2-② 2-③	個人並びに集団でも挨拶やマナーなど状況に適した行動がとれ、様々な機会でも活用できる生徒の育成を図る	3.3	3.3	3.3	●集会や学校外に出たときにまだまだ徹底できない面が残っている。
	3	3-④	授業で身につけたことが部活動でもさらに活かされ、さらなる質の向上につながり部活動の活性化そして本校の活性化につながる主体性のある生徒の育成に取り組む。	3.3	3.3	3.3	●挨拶や集合など周りを見た行動がさらにとれると良いと感じる。
英語	1	1-①	4技能5領域の定着を図る。	2.5	2.0	2.3	●生徒の主体的な表現活動
	2	1-① 1-②	英語で積極的にコミュニケーションを図る能力・態度を養う。	2.0	2.3	2.2	
	3	1-① 1-③	異文化を積極的に理解しようとする態度を養うとともに、自国の文化を積極的に発信しようとする態度を養う。	2.0	2.0	2.0	●新ALTの来校が望まれる
家庭	1	1-①	アクティブラーニングに導く授業内容・方法の研究	3.0	3.0	3.0	○ICTを活用を含めたアクティブ・ラーニングの視点での授業改善
	2	2-①	持続可能な消費行動がとれる力の育成を目指した指導計画の作成	2.0	2.0	2.0	○関連する分野と学習の手段の検討
	3	4-②	家庭クラブ活動の推進、外部講師の活用	3.0	3.0	3.0	○主体的に取り組める活動内容の検討
商業科	1	1-① 1-②	生徒に思考を促し、考える楽しさや実感できる授業に向け、日々の授業改善、学力向上に取り組む。また、教育課程に対応した効果的な授業の展開や教材の開発と共有化に努める	2.8	2.8	2.8	●ICT活用を取り入れた授業を研究してきたが、イメージ通りでできなかった。 ○ICTの活用を進めていく。
	2	2-③ 3-④	資格取得に積極的に挑戦する意識を育て、「自ら学び続けられる生徒」の育成とともに、部活動の活性化を図り、高度な専門力と人間力の育成を図る	2.8	2.8	2.8	

	3	4-②	<p>コマースウル都商(販売実習)や課題研究を通して、地域と連携を図り主体的に社会に貢献できる生徒の育成を図る</p>	2.7	2.8	2.8	<p>●コロナ禍もありコマースウル都商が開催されていない状況からどう継続していくか。  ●google formを利用した注文が教師主導であったので、来年度は生徒主体で進めていくようにしたい。  ○生徒主体での実施を考える。</p>
--	---	-----	---	-----	-----	-----	--

学校行事重点目標と達成手段

宮崎県教育基本方針	本県の教育は、あらゆる教育の場を通じ、教育基本法にうたわれている人間尊重の精神を基調として、 「たくましいからだ 豊かな心 すぐれた知性」 をそなえ、郷土に対する誇りと柔軟な国際感覚にあふれ、新たな時代を切り拓いていく気概を持ち、心身ともに調和のとれた人間の育成を目指します。					
学校経営ビジョン	自信と誇り、高い志を持つ自立した経済人の育成を目指し、地域および県民の負託にこたえる学校の創造 — 経済の変化を察知し、対応するために学び行動し、経営活動に参画する職業人の育成 —					
目指す方向性	目指す生徒像		目指す学校像		目指す教師像	
	①キャリアビジョンを描き実現できる生徒 ②都府県ならではの学びを実践できる生徒 ③地域の文化・産業の発展に貢献できる生徒		④地域社会の負託にこたえる学校 ⑤自立した品格ある経済人を育む学校 ⑥高い志と人間性を育むことができる学校		⑦変化を恐れず、常に前向きな教師 ⑧学問の本質や常識を的確に指導できる教師 ⑨時代の変化や地域のニーズに敏感な教師	
重点目標						
1	キャリアビジョンを描き実現する生徒の育成	①授業改善(教える⇒考えさせる授業へ) ②教師の授業力向上 ③キャリアビジョンの構築と実現(メタ認知) ④朝読書の質的向上	前期	後期	年間平均	
2	自立した品格ある生徒の育成	①環境教育の実施と教育環境の整備 ②先輩からの都府県イデオロギズム伝達(卒業生・在校生) ③礼節を重んじ、何事にも誠実に取り組む姿勢 ④教育環境の整備と施設設備の維持管理	2.7	2.8	2.8	
3	高い志と人間性を身につけた生徒の育成	①公共施設でのマナー向上 ②美化意識の向上と施設・設備の充実 ③危機察知能力の育成 ④部活動を通じた高い人間性・人間力の育成	2.7	2.9	2.8	
4	地域の文化・産業の発展に貢献できる生徒	①地域行事への参加奨励 ②地域と学校の連携・協働の充実 ③行政との連携強化 ④予算の計画的・効果的な執行	2.8	3.0	2.9	
評価指数 4(期待以上) 3(ほぼ期待通り) 2(やや期待を下回る) 1(改善を要する)						
校務分掌						
行事	重点目標との関連	具体的方策	評価			●今期の課題○次期必実施項目
			前期	後期	年間	
HR活動	4-① 4-② 4-③	集団や社会の形成者として主体的に参画する態度や他者との協働を学び自己実現を図ろうとする態度を養う。	2.9	3.0	3.0	●後期クラス裁量の時間が増えた。 ●クラス裁量の時間が多く設定してあることはありがたいが、進路ガイダンスなどが多くあっても良いと感じた。 ●クラス裁量の時間が多く設定してあることはありがたいが、進路ガイダンスなどが多くあっても良いと感じた。 ●LHRにクラス裁量の時間が増えたことが良かったが、学年で統一した取り組みを前期・後期それぞれどこかで入れられるといいと感じた。(各学年で考えて。) ○次期必実施項目です。
朝の読書	1-① 1-③ 1-④	読書を通して得た知識・情報を教養(知識×考える力)まで高める。	2.5	2.6	2.6	●読書以外のこと(宿題や検定の勉強)をしている生徒への指導 ●主体的に読書準備から読者までやる生徒と教師がついていないとやらない生徒と分かれている。 ●本を忘れるなどの生徒や毎回違う本を読んでいる生徒が見受けられた。 ●現在のままで良いと思います。 ●朝の読書の前に体温を測る時間を取るのだが、クラスの生徒がそろうのが20分から25分の間なのでどうしても読書の時間に記入する・回収するなどの時間が取られるので何とか生徒に意識付けして早めに記入する習慣を年度初めに行うべきだと考える。 ●クラスによって実施のばらつきが見える。全員が読書することを徹底させる。 ○探究活動との接続を意識した取り組みになると良い ○クラス全員が監督者がいなくてもできるようにする。 ○朝読書の意義について共通理解を図る ○次期必実施項目です。 ○朝の読書時間を来年度も継続させるのであれば、工夫してほしい。 学級文庫の設定意図を見直し、進路に関わる書籍をクラスに置いたり、学級文庫の本を1ヶ月ごとに変更したりしてほしい。
部活動	2-② 2-③ 3-① 3-④	目標に向けて取り組む継続力、計画を立てる先を見通す力、チームとしての協調性、目標を成し遂げた達成感を養う事によって人間力の向上を図る。	2.9	3.0	3.0	●学年を超えた人間関係の形成 ●顧問が不在でも自主的に計画を立て活動できる力を育てる ●バレーボール、ソフトテニス、卓球など学校の勢いの創出に貢献していた。 ●コロナの影響により延期されていた試合が中止となり、選手のモチベーションが下がった。 ●学習と部活動のメリハリを作っていくこと。テスト前に学習に集中している雰囲気になかなか作れない。大会がテスト後にある部活動以外が当たり前に練習している現状で良いのか？ ●部活動の実績は上がってきていて素晴らしい事ですが、もっと部活動生が学習・クラス活動・行事の場面・清掃などで先頭を切って動けるような雰囲気作りをしていける伝統を作って行けたら良いと考える。 ○部活動を行う理念、短中長期目標をしっかりと持った部活動運営 ○コロナ感染対策を今後もしっかりと行う。 ○次期必実施項目です。 ○キャプテン集会・部活動生集会などで顧問の先生方が輪番で色々な話をすることで生徒に色々な場面での行動の変化が出るのではないかと考える。
定期考査 課題考査	1-① 1-②	学校内規に基づいて実施され、定期テスト・課題テストにより得られる評点によって成績評価が行われる。これにかえて単元テスト等による評価を行うことも可能である。	2.9	2.9	2.9	●定期テストから単元テストに移行できた授業もあったが、欠席して単元テストを受けられなかった生徒の評価が難しかった。 ●定期考査をせずに評点を出す教科・科目がある理由を、教えて下さい。 ●単元テストをすることによって生徒の知識理解が、継続的につながっていくのでやってみて良かったが、単元テストに厚みを持たせる為の工夫をしなければならぬと感じた。 ○課題テストから単元テストへの振り替え ○3観点による評価に対する準備
全校集会 学年集会	1-③ 2-② 3-③	社会性(公的な場と私的な場との違いを認識)、他者を思いやる気持ちを身に付ける。	2.9	2.9	2.9	●質が下がった。注意しないと静かにならない。 ●たくさん話を工夫して話していただいている。生徒もよく聞いている。ぜひ、継続してもらいたい。 ○オンラインの有効活用 ○生徒たちだけの無言集合・手指消毒・生徒による司会進行などを学年集会などでやらせる場面があるのではないかと考える。
体育大会	2-② 2-③ 3-④ 4-②	生徒の心身の健全な発達と体力の向上を目指し、規則を守り協力して責任を果たすことにより、活力ある学校生活の充実を図る。生徒の主体的参加を通して、自発的活動を助長し、運動に関する興味・関心を持たせ、運動実践の活性化を図る。	3.0	3.1	3.0	●2年連続のコロナ対応に全職員で対応できた。 ●競技要領などを全職員もしくは、関係する係だけでも配布していただきたい。 ●はちまきが古いので新しくするか、個人購入でよいのではないだろうか。 ○本校は県内全日制唯一の2学期制の高校なので、5月実施が良い。 ○実施時期の検討(生徒にとって5月実施はベストなのか)

文化祭	2-② 2-③ 4-③	学校生活における文化的な成果発表の機会とし、自主性・協調性・創造性を養い、学校の活性化を図る。	2.5	2.9	2.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生徒の熱心な取り組みが見られてよかった。</li> <li>●制限された中、うまくまとめられたと思うが、生徒の満足度はどうだったのか気になる。</li> <li>●時期を見直して欲しい。3年生は大学への出願開始の直前だった。</li> <li>○コロナ禍への対応</li> <li>○生徒の創造性が高まり、コピー文化から脱却できると良いと思います。</li> <li>○新しい取り組みを入れていかななくてはならない。</li> <li>○10月最終週は、3年生の進路の動き(進学志望先出願)と重なるため、担任の負担がかなり大きい。10月実施であれば第2・3週がいい。</li> <li>○都商デリパリーを文化祭から外して別の取り組みをさせるのか、外さずこのまま継続させるのかの判断を考える時期にきているのではないだろうか。</li> </ul>
クラスマッチ	2-② 2-③ 3-①	クラスの親睦を図りながら心身の健全な発達と体力の向上、自発的活動の展開を図り、活力ある学校生活を実現する。	2.9	3.0	3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>●天候不良で前期は最後まで実施することが出来なかった。コロナ禍の中で、どこまで想定しておくべきなのか実施の難しさを感じた。</li> <li>●試合が終わった生徒の管理がされていない。教室のエアコンを入れてお菓子を食べたり昼寝をしている生徒もいた。</li> <li>●勝つことに本気になるあまり、一部の生徒に対してつらい言葉(試合に出ないでほしい等)を言われたという話を数件聞きました。難しい部分ではあると思いますし、すでにされていることかもしれませんが、全体に目的を伝えたりチーム分けの時に教員もいくらか関わったりする工夫は必要だと思いました。</li> </ul>
人権教育	1-① 2-③ 4-③	人権教育を行うことにより、人権に関し理解を深め、正しい人権感覚を基に意識・態度・実践的な行動力を育成し発展させる。	3.0	3.0	3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>●50分になった理由が、一部の先生方の意見だけを優先させただけであるということが、怒りにつながるぐらいな気持ちで思っている。</li> <li>●担任以外の先生で担当して欲しい</li> <li>○70分はかけるべき</li> </ul>
修学旅行	1-① 2-③ 3-① 3-③	健康や安全への自己管理能力を養い、集団行動における個々の責任、公衆道徳、協調性、公共心を養うとともに、大自然や母国の素晴らしさを認識する。	2.0	3.0	2.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>●今回、スキーもできて東京にも行けたことは運が良かったと思う。2年生の中には、3年生に申し訳ないと感じている生徒も多かったようだ。</li> <li>●また、送迎場所については、市民球場より三股図書館の方が安全だと思います。</li> <li>●ディズニーや自主研修での服装をしっかり守らせることが大切ではないか。</li> <li>○保護者への細かな対応</li> </ul>
歓迎遠足	2-② 3-① 3-②	学年を超えて親睦を図ることで、学校全体の団結力を養い、勢いのある学校づくりに資する。	2.3	2.6	2.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>●係の先生は何度も計画を変更しなくてはならなかったし、実施もできなかったのは非常に残念でした。</li> <li>●コロナ禍の終息がなかなか見通せない中での学校行事ですから、日程時期や内容などの実施要項づくりが大変ではないかと思えます。</li> <li>●感染対策等を図りながらどのように実施できるかが課題ではないでしょうか。</li> <li>●実施できていない</li> <li>●校内遠足は厳しいのでは？</li> <li>●実施はできませんでしたが、生徒会を中心に準備をしてきたことは無駄ではないと思います。</li> <li>●昨年度から延期になった「海」の遠足が、残念ながらコロナの影響で今年度もできなかったこと。</li> <li>●コロナの影響で予定通りにいかず大変であったと思えます。</li> <li>○3年に1回の遠足は継続させる。</li> </ul>
販売実習	4-① 4-② 4-③	「地域とともにある学校」を目標に、貸し借りの関係ではなく、学校・地域との連携、協調により、双方向で対等な関係を構築するための一手段。	2.4	2.9	2.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コロナ禍により、地域との連携や協働も制限された。</li> <li>●時代に合わせた新しい販売実習を検討していく必要がある</li> <li>●もう少し工夫ができた気がする。</li> <li>●デリパリー販売では、実習体験として不足している部分がある。コロナ禍でどのように実施するのか考えていく必要がある。</li> <li>●コマースウル都商・都商デリパリーどちらにしても文化祭でやるのか、やらないのかの時期にきていると考える。</li> <li>●今年度のコマースウル都商は本校生徒向けの注文販売の形式(一部当日販売)で実施しましたが、その中に大幅に納入時刻が遅れた業者がありました。これは、明らかに「高校生相手だから」という企業側の甘えというか、責任というものを軽く考えていたように感じました。この点から、2を選びました。</li> <li>○あくまで生徒主体で行うスタンス</li> </ul>
生徒会 専門委員会	1-③ 2-① 2-④ 4-①	生徒会・委員会活動を通し、都商を生徒たち創造していく力やそのためには先を見通して計画をし、実践していく力を養う。	2.8	2.8	2.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>●委員会の内容の徹底が不十分であった。</li> <li>●生徒会役員がクラスマッチの選手名簿を手入力していて、日頃学習しているビジネス情報の内容が活かされていないと残念でした。がんばりが創造力や実践力につながっていない気がして、もったいないと思いました。</li> <li>○特定の部活動の生徒は、生徒会にならなくてもよいという、暗黙のルールみたいなものはなくすべき</li> <li>○更なる主体的な活動を期待します。</li> </ul>
朝の挨拶 清掃活動	2-② 2-③ 3-② 3-④	部活動生徒等の有志による自発的な活動により、礼儀正しい活気ある学校をつくるとともに、参加生徒は、思いやり、忍耐力、協調性を養う。	2.9	2.9	2.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日々の清掃活動が場所によっては多少疎かな部分があった。割り振りも含めて再構築をした方がいい。</li> <li>●清掃活動に関しては生徒の環境に関する意識が低い。全体的に清掃用具の管理などもずさんで整理されていないと思います。</li> <li>○挨拶運動の曜日指定</li> </ul>
検定試験	1-① 1-② 1-③	自己の学習到達度を知る有効な手段として活用し、日常の自宅学習を有効活用することで、合格に向け自ら継続的に粘り強く学習する態度を育てる。	2.8	2.8	2.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>●あくまで生徒が自ら課題解決に向かう姿勢を明確にすること。</li> <li>●強制されない検定試験の受験者が減った。</li> <li>○検定試験主体からの脱却。</li> </ul>
進路模試 進路行事	1-① 1-② 1-③	対外模試による客観的学習到着度の自己認知機会・意識付け→運営→振り返り。	2.5	2.6	2.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>●進路指導の先生方の意識が、旧態依然である</li> <li>●進路模試の活用が不明確。</li> <li>●事前学習や振り返りに十分時間をとることができなかった。</li> <li>○共通テストの受験をしない生徒は、国公立大学への進学をしてほしくない。普通教科の人間として、特にそう思う。</li> <li>○小論文模試の実施</li> </ul>
学科別集会	1-③ 2-② 2-③	学科長のリーダーシップにより、学科毎に学年を超えた縦の連携を強化し、伝統の継承や成功事例の共有を図る。	2.3	2.6	2.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○もっと集まる機会があつてよい気がします。</li> <li>○来年度入学生から学科改編が行われるため、『学科』という単位での活動は困難なのではないでしょうか。学科は変わるのだから、これまでの『学科別集会』に2・3年生と1年生を一緒に入れ込むのはやめたほうがいいと思います。</li> </ul>